

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公表番号】特表2006-511442(P2006-511442A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-506350(P2004-506350)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/576 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/18 Z N A

C 0 7 K 16/10

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 Q 1/06

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 31/14

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 48/00

G 0 1 N 33/576 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月13日(2006.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0193

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0193】

C T L試験の結果を図6、7A～9A及び10に示す。これらの図において、S1はマウス1であり、S2はマウス2であり、S3はマウス3であり、S4はマウス4であり、S n e gはコントロールマウスであり、

－図6は、A T Lエピトープを標的とみなすAペプチドの注射の後、エフェクター／標的比の関数として特異的溶解率を示し、

－図7Aは、B'エピトープを標的とみなすBペプチドの注射の後、エフェクター／標的比の関数として特異的溶解百分率を示し、

- －図 8 A は、C ペプチドを標的とみなす C ペプチドの注射の後、エフェクター／標的比の関数として特異的溶解率を示し、
- －図 9 A は、A L Y エピトープを標的とみなす D ペプチドの注射の後、エフェクター／標的比の関数として特異的溶解率を示し、
- －図 1 0 は、A L Y エピトープを標的とみなす D ペプチドの注射の後（マウス S 1 及び S 2）又は A L Y エピトープを標的とみなす A L Y エピトープの注射の後（マウス S 3 及び S 4）、エフェクター／標的比の関数として特異的溶解率を示す。